

長久手市香流川整備計画 (香流川を活かしたまちづくり)



概要版

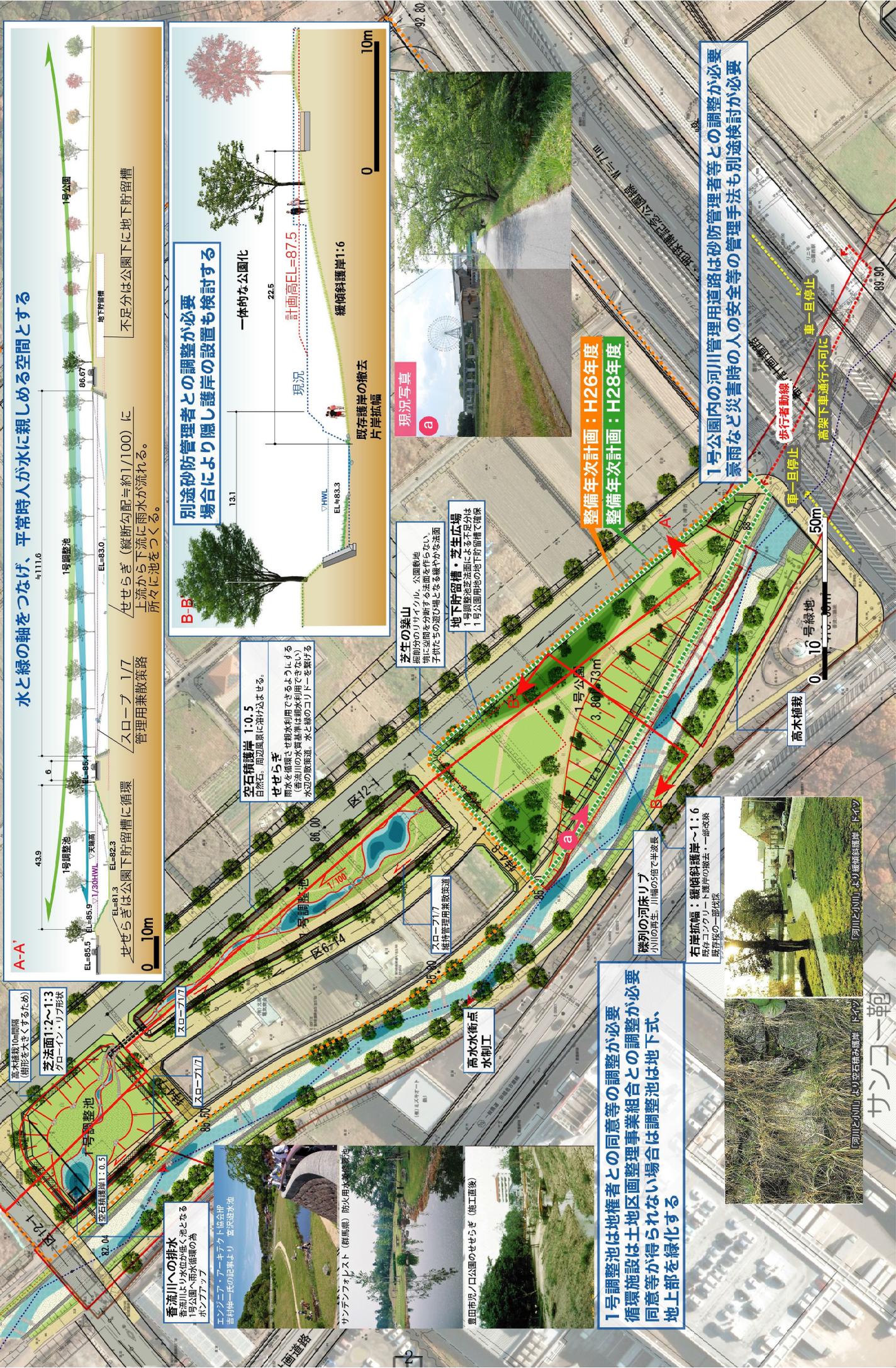
1. 重点整備箇所の抽出
2. 重点整備箇所のイメージ
3. 協働・市民参画への事業計画案

長久手市

1. 重点整備箇所の抽出



2. 重点整備箇所のイメージ 1 公園西駅周辺 1:1,000

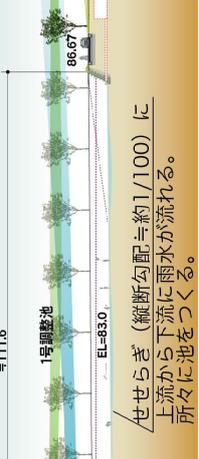


水と緑の軸をつなげ、平常時人が水に親しめる空間とする

せせらぎ (縦断勾配約1/100) に
上流から下流に雨水が流れる。
所々に池をつくる。

せせらぎは公園下貯留槽に循環
管理用兼散策路

空石積護岸 1:0.5
自然石、周辺風景に溶け込ませる。
せせらぎ
野山を模してせせらぎ池を利用できるように
野山の水質改善は併用できない
(香流川の改善計画は併用できない)
水辺の散策道、水と緑のコリドーを繋げる



別途砂防管理者との調整が必要
場合により隠し護岸の設置も検討する

一体的な公園化

現状 計画高EL=87.5

緩傾斜護岸1:6

既存護岸の撤去
片岸拡幅

13.1 22.5 10m

現況写真 a

整備年次計画：H26年度
整備年次計画：H28年度

高水水街点
水制工

隣列の河床リブ
小川の増生、川幅の5倍で半深長

右岸拡幅・緩傾斜護岸～1:6
既存コンクリート護岸の撤去、一部改良
既存緑の一部伐採

1号調整池は地権者との同意等が必要
循環施設は土地区画整理業者組合との調整が必要
同意等が得られない場合は調整池は地下式、
地上部を緑化する

1号公園内の河川管理用道路は砂防管理者等との調整が必要
豪雨など災害時の人の安全等の管理手法も別途検討が必要

高木植栽

地下貯留槽・芝生広場
1号調整池湛水面による不足分は
1号公園用地の地下貯留槽で確保

李生の築山
個別地のリサイクル、公園緑地
掘削土を分析する法面を作らない。
掘削土を分析する法面となる緑やかな法面
子供たちの遊び場となる

香流川への排水
香流川より水位が低く池となる
1号公園へ雨水循環の為
ポンプアップ

エンジニア・アーキテクト協会
吉村伸一氏の記事より 香流池

サンデニアレスト (群馬県) 防火用水池

夏田市況、1号公園のせせらぎ (施工直後)

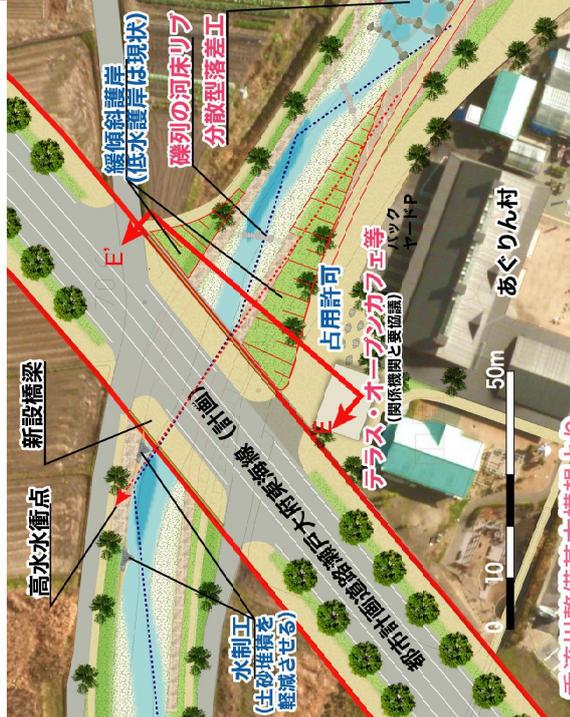
河川と山より空石積み護岸、ドイロ

河川と山より空石積み護岸、ドイロ

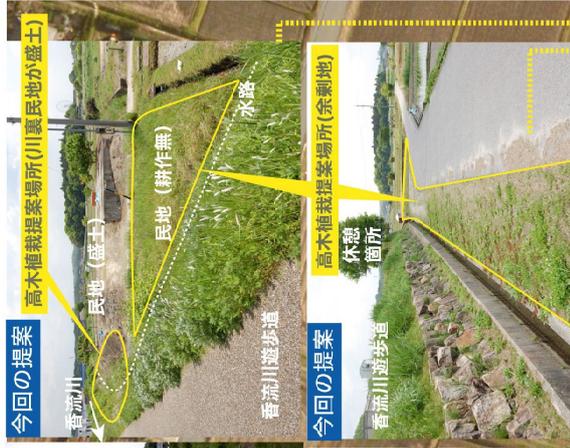
河川と山より空石積み護岸、ドイロ

河川と山より空石積み護岸、ドイロ

2 香流川中上流部 1 : 1,000



d 川がどこにあるのかわかりづらい



e 今回の提案

香流川整備基本構想より 整備の考え方 川に顔を向けた交流空間形成

- 1人の交流を図る空間整備**
 - 現在は川を背にしていることから、川に顔を向けたオープンカフェ等を整備し川に顔を向けた交流空間を創出する。
 - 新設橋梁への取付け部を利用して法面をできるだけ緩やかにし、子供たちが水辺に近づきやすい、広がりある空間とする。
- 2連続する歩道・橋梁の整備**
 - 溝下橋は交通量が多いことから、高水敷に連続した歩道を整備する(溝下橋周辺は一部石積み護岸とし、歩道幅員を確保)。
 - 都市計画道路の橋梁は、長久手交流空間の新たなランドマークとなるデザイン又は周辺景観に溶け込むデザイン等で景觀検討を行う。
- 3護岸法面への植栽**
 - 高水位までコンクリート護岸が整備されている箇所は、河岸法面に高木を植栽する(高水位までコンクリート護岸が整備されていない箇所は、農道と香流川緑地間の法面に植栽部のみ盛土し高木を植栽する)。
- 4水制工と礫列の河床リブ(小川の再生)**
 - 水衝部は寄せ石を設置し、護岸の河床低下対策を図る。
 - 自然に近い川は、極水路幅の10倍前後の長さを一波浪長として野行することから、既存の淵を基準としながら、半波長ごとに方向転換するポイントで淵を形成するよう、小規模な礫列の河床リブを一定間隔で配置し、瀬をつながるイメージとする。
- 5分散型落差工**
 - 既存の落差工から石積みの分散型落差工とする。流速と水深を多様にし、生物の生息環境改善を図る。

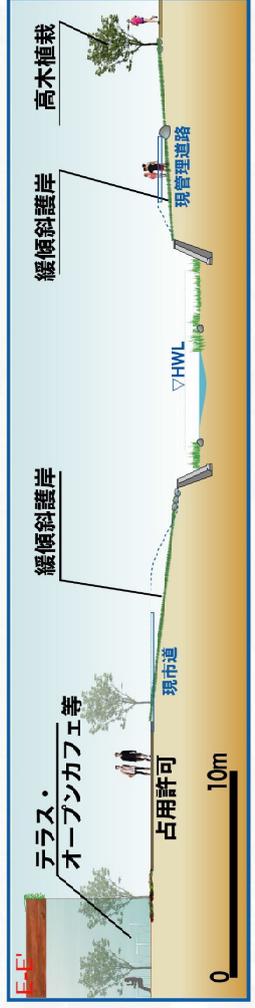
参考事例：あぐりん村や沿川の公共施設を向けたまちづくり

参考事例：あぐりん村や沿川の公共施設を向けたまちづくり
 ・余剰地では川に顔を向けたまちづくりやオープンカフェ等を設置を検討する。
 ←創成川公園・札幌市公園緑化協会HPより



参考事例：上流は堤防が高くなっていることから、周辺の田圃から行き来できるようにスロープを整備する。

参考事例：上流は堤防が高くなっていることから、周辺の田圃から行き来できるようにスロープを整備する。→豊田市矢作川(ワインランドトラック)



今回の提案
 ①川らしい風景の創出(香流川を意識させる)
 ・余剰地等に盛土・高木植栽
 ・ポータルが生息できる川づくり(神明川合流部)

都市計画道路瀬戸大府東海線橋梁は整備年次が早まる可能性がある
 橋梁と河川管理道路との高低差・擦り付け等は橋梁詳細設計時に検討する

e 実際の視点は枠外 (南東側)

3 岩作橋～前熊橋付近

1:1,000の66.7%≒1:1,500



現況写真 f

香流川整備基本構想（H24）時は影響を軽減するために竹林が間伐され管理道路（土系）が整備されている

g

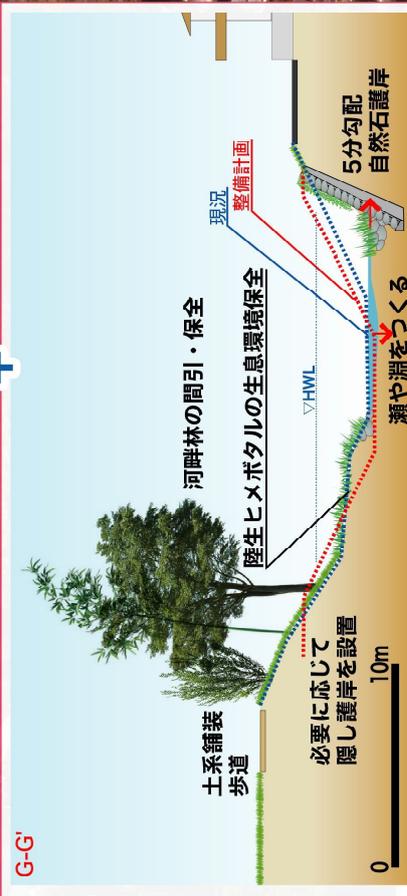


参考事例：高根山などの里山や河畔林を保全・活用し、川遊歩道をつなぐ。→北海道建設部土木局河川砂防課HPより精選



今回の提案

- ① 里山の風景に溶け込む空間づくり
高根山や色金山、沿川の田園等周辺の景観に溶け込む空間を目指す
- ② 都市計画緑地「香流川緑地」の延伸
前熊橋から下流、一乃井橋から上流の未指定区間「香流川緑地」の延伸
- ③ 水生生物の移動
岩作橋下流の落差工の改善
- ④ 河畔林の保全
竹林の間伐、エノキ等水生種の保全
- ⑤ 遊歩道整備
香流川遊歩道整備 (岩作橋～前熊橋間を優先)



連続する歩道の整備

- ・向田橋～南島橋間は両岸土道路が未整備のため、右岸は護岸に道路を整備し、橋との取付け部の余剰地は河床拡幅し、緩傾斜護岸とする。
- ・向田橋～南島橋間は、河畔林の環境に配慮し、河畔林の中を穿行する歩道+土系舗装とする。
- ・岩作橋～向田橋間土岸は、長久手中学校が災害時避難場所に指定されていることから、岩作橋から、岩作橋から突出歩道を連続させる。

水制工と隣りの河床リブ(小川の再生)

- ・水制工は石組みの水制工を設置し、護岸の河床低下対策を図る。
- ・自然に近い小川は、低水路幅の10倍前後の長さを一波長として蛇行することから、既存の岩を礎としながら、半波長ごとに方向転換するポイントで淵を形成するよう、小規模な隣りの河床リブを一定間隔で配置し、淵でつながるイメージとする。

岩作橋～南島橋 整備の考え方 河畔林の保全+河積確保

- ① 隠し護岸・石積み護岸(5分勾配)
- ② 竹林の管理、河畔林の保全

向田橋～南島橋左岸の竹林により護岸が保全されにくい箇所は必要に応じて隠し護岸を設けて設置し、右岸は5分勾配の自然石護岸とする。河積の不足する箇所は5分勾配の隠し護岸、河床のスライダウソ、川幅・河床幅を広く確保する(川の働きを活かす)。

分散型落差工+護岸景観対策

- ① 分散型落差工
 - ・魚類などの生物が移動できない既存の矢板の落差工から、石組みの分散型落差工とする。流速と水深を多様にし、生物の多様な環境改善を図る。
- ② 護岸景観対策(土佐積み)
 - ・落差工付近は蛇籠・矢板護岸となっており、人工的な印象を与えることから、前面に自然石の土佐積みを行う。
- ③ 連続する歩道の整備
 - ・左岸護岸に歩道を整備する。
- ④ 護岸法面への植栽
 - ・高水敷までコンクリート護岸が整備されているため、河岸法面に高木を植栽する。コンクリート護岸はソダ類によりコンクリート面を目立たなくする。

4 石田橋周辺

ワークショップで話し合いながら進める
1:1,000



現況写真



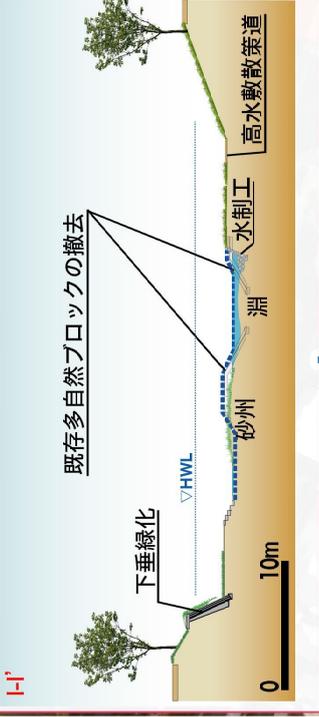
現在行き来不可

参考事例：香流川から市内河川施設へ誘導できる誘導サインや散策コースの設置、距離表示により、利用者の楽しみを増やす。左：観光庁ランナーズインフォHPより福岡大濠公園 右：豊田市足助町誘導サイン（日本街路灯製造株式会社）



参考事例：香流川沿道や図書館通りなどの景観道路は、電線類の地中化や、剪定を必要最小限にして自然な樹形を形成する緑陰道路化を検討する。←岐阜市本郷町ケヤキ並木

香流川整備基本構想より 整備の考え方 ビオトープ空間の再生 (淵と瀬、砂州の形成(低水護岸の改善))



今回の提案
 ①文化の家等の丘陵部から川へと水と緑と人がつながる空間整備
 ・境のない運用・一体的な交流・親い空間として、静や周遊動線を繋げる(周遊動線整備、サイン・ベンチ等の設置、街路樹の緑陰道路化・電線類地中化、構造物の修景など)
 ・市民参画による川への意識向上・環境教育(イベントの開催、除草・清掃等)
 ・外来生物オオケイギク、ブタクサ、ネズミムギ等の優先的刈り取り。
 ・下水処理場の高度処理や排水口の位置等も将来的に検討する。

- ①河床・河岸の安定化と自然環境の還元**
 ・土砂の堆積が進み、上面が植生が覆い、治水面でも景観でも当初目的から反する現象となっていることから、自然河川により近い淵や瀬の形成を促し、土砂の堆積もより自然砂州に近い、植生繁茂の維持管理面でも有利な川づくりを目指す。
 ・河道幅規模の蛇行を単位とする河床の近自然デザイン等3つの考え方があり、本案はそのうちの一つ。
 ・右岸側は、高水時の水衝部となる河岸領域であるため、淵が形成されやすい区間に水深確保と河岸防護の護岸・水制等の対策工法を施す。
 ・淵の淵尻・瀬肩の位置と河床高を維持するために、分散型落差工の応用による対策工を設置する。
 ・左岸側は、高水時の水衝部となり、河道幅が急拡することから、砂州が形成されやすい。砂州と淵・瀬の相対的な位置関係から、砂州上の土砂堆積や植生繁茂の過剰発達を抑制する。
- ②周遊動線(歩道・歩道橋)の整備**
 ・高水敷・護岸は連続した歩道整備をする。
 ・ビオトープや松ヶ根公園・中央図書館⇄文化の家⇄香流川を周遊できる歩道橋と飛び石を配置し、一体的な河川公園空間とする。
- ③護岸法面や高水敷への植栽**
 ・ビオトープでは河床が大きく、また高水位までコンクリート護岸が整備されているため、河岸法面に高木を植栽する。
 ・コンクリート護岸や高水敷のコンクリートは覆土・マット又はツタ類による下垂緑化等によりコンクリート面を自立たなくする。

5 原邸公園周辺

第2回委員会から変更なし ワークショップで話し合いながら進める

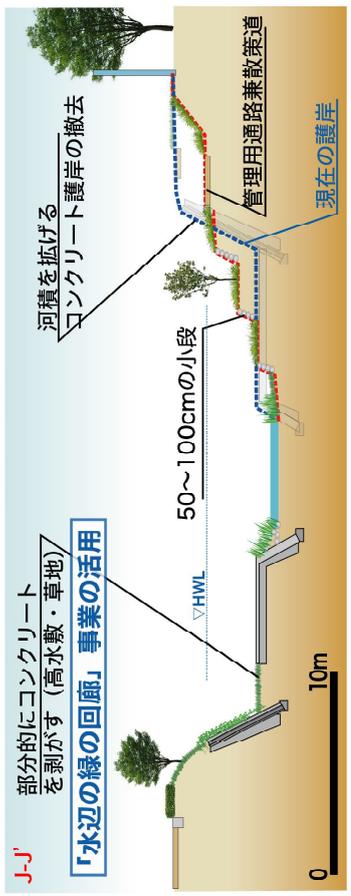


香流川整備基本構想より
整備の考え方

落合公園等と一体となった水辺の楽校

J-J' 部分的にコンクリートを剥がす (高水敷・草地)

「水辺の緑の回廊」事業の活用



- ① **水辺へのアクセスの工夫による親水性の向上**
 - ・北小学校南側・落合公園区域を利用して、50~100cm程度の高さの低い小段により法面をできるだけ緩やかにし、子供たちが水辺に近づきやすい、広がりある空間とする。
- ② **寄せ石・寄せ石**
 - ・低水護岸をコンクリートで固めているため、寄せ石や寄せ石を設置し、滞水を蛇行させる（水浜で自然に淵を形成）。
- ③ **連続する歩道・歩道橋の整備**
 - ・高水敷は連続した歩道整備をする。
 - ・落合公園・原邸公園を行き来できる歩道橋と飛び石を設置し、一体的な河川公園空間とする。
- ④ **護岸法面や高水敷への植栽**
 - ・高水位までコンクリート護岸が整備されているため、河岸法面に高木を植栽する。
 - ・高水敷の全面コンクリートは部分的に剥がし、草本類を自生させる。
 - ・コンクリート護岸は覆土・マット又はツタ類による下垂緑化等によりコンクリート面を目立たなくする。
- ⑤ **落差工の一部切欠き**
 - ・既存のコンクリートで固められた落差工を一部切欠きことで、流速と水深を多様にし、生物の生息環境改善を図る。

現況写真

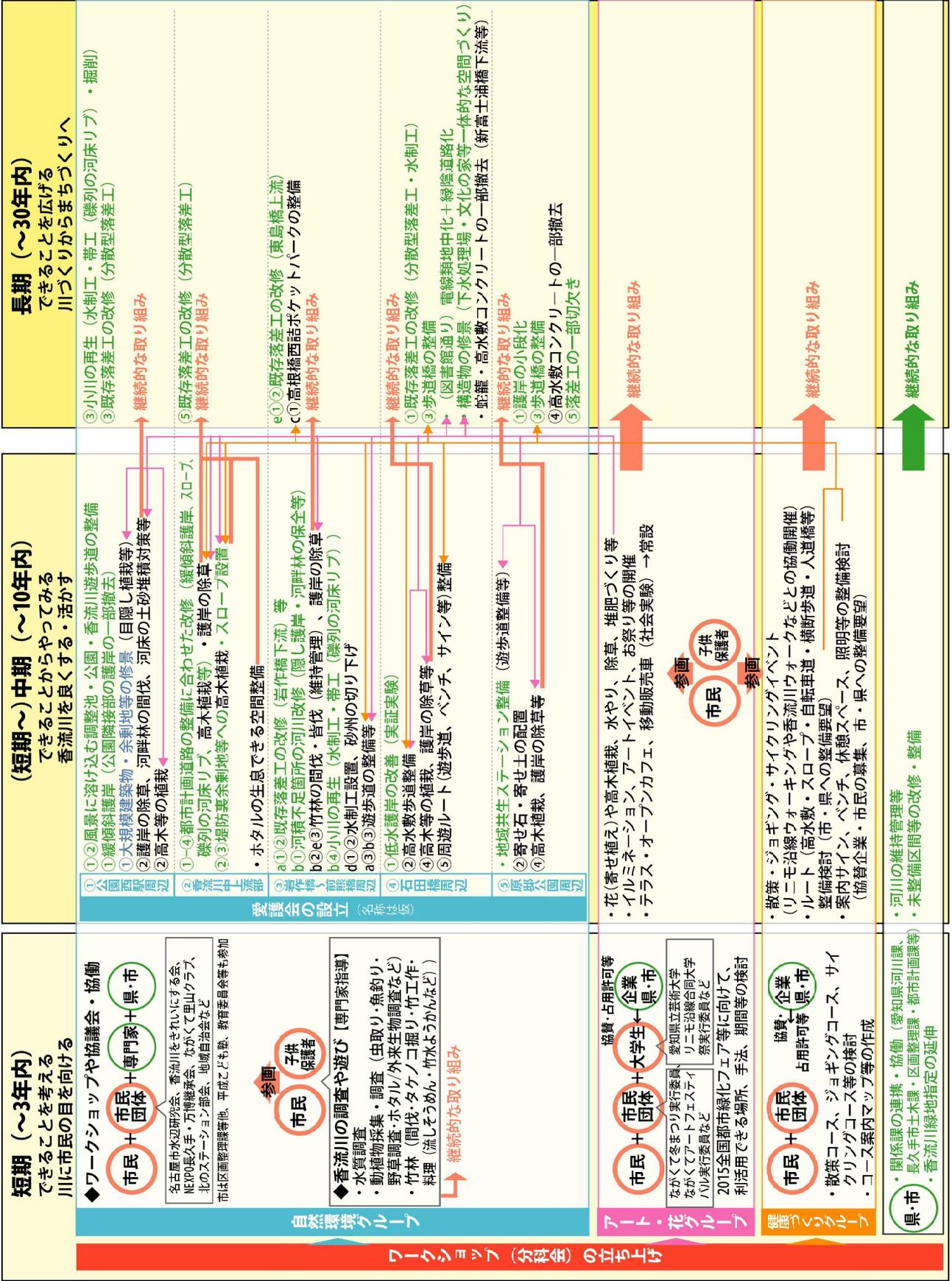


今回の提案

- ① **小学校・保育園跡地等と一体となった水辺の楽校 (市民参画)**
 - ・北小・落合公園・北保育園・原邸公園の間遊歩線
 - ・長久手北保育園河川占用部分の香流川遊歩道の延伸 (高木植栽・遊歩道・ベンチ等の整備)
 - ・北小学校児童や保護者、市民ボランティア等との共働で環境教育活動(生き物調査・草花の植栽・清掃等)



3. 協働・市民参画への事業計画案



ワークショップ（分科会）の立ち上げ